

第106号

こだま



発刊日 令和6年12月20日
発行者 青森県立三戸高等学校
P.T.A広報委員会



体 育 祭

最高の体育祭

白軍団長 木村 麗誠

はじめて団長に挑戦しました。きっかけは、私が団長になれば絶対勝てると思ったからです。全体練習では、顔を出すことができなかつたのですが、副団長の二人が私の代わりに、チームをまとめてくれました。そのおかげでチームの「絆」がより深まつたような気がします。本番では、選手宣誓の内容を忘れてしまったのですが、紅軍団長が代わりに言つてくれて、なんとか言い切ることができました。私と副団長でみんなに声をかけチーム一丸となつて味方を応援したり、体育祭を盛り上げることができました。みんなが一生懸

本末転倒

紅軍団長 清沢 勇人

夏、高校生活最後の体育祭では悔いを残したくなかったので、一度はやつてみたかった軍団長に立候補しました。思い切つて挑戦してみたはよいものの、部活の部長として部員をまとめるのは規模が全然ちがうので不安もありました。体育祭練習での三高音頭では三高的体育祭をはじめて経験する一年生に丁寧に教えたつもりでしたが、なかなか苦戦しました。すんなりと覚えられる人もいれば、何度もやつても同じところができる人もいたので、教え方をどう変えれば伝わるのか試行錯誤しました。そうしているうちに体育祭当日になりました。体育祭当日は、少し暑いくらいで運動するのにはちょうどよい天気でした。しかし、油断していたのか、今までの疲れ



感謝祭

体育委員長 市村 舞冬

今年の体育祭は、去年とは違いました。一学期に開催されました。体育委員では、グランド整備、パンフレットの作成、道具の準備、行事運営を行いました。不慣れなこともあり、指示が上手く伝わらず、進行が滞ることもありました。が、たくさんの人達に支えられ、助けられ、なんとか当日を迎えることができました。

令和六年八月二十二日、二十三日の二日間に第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会が開催されました。

初日は五つの会場でそれぞれのテーマで講演が行われました。今回私が参加したのは第一分科会でテーマは「教育の過去・現在・未来」故きを温めて新しきを知る」でした。講演は二回行われて、一回目は、講師が小坪のり子さんで演題は「藩校『弘道館』の教育」でした。二回目は、講師が加藤崇英さんで演題は「もつと学校・教育がみんなに開かれる未来を展望する」でした。今、将来の変化を予測することが難しい時代に生きる子どもたち

大会の中で、「不易流行」という言葉を多く耳にしました。「いつもでも変化しない本質的なものを忘れないこと」で、これまでも変化しない本質的なものを忘れないこと」で、これから事を考へていく大切なものだと感じました。

全国高校PTA連合大会に参加して

PTA会長 三代川 将仁

せんが、当日、二種目めの競技が終わった辺りから軽いめまいがしてフランフランでした。結局、二種目で私の出番は終わり、テントで休ませてしましました。軽度の熱中症だそうです。悔しいです。結果は優勝することができますが、全員声を出し一生懸命やつてくれたのですばらしい体育祭になりました。

活動を振り返って

研修委員長 工藤 友恵

三年間、研修委員として三戸高校の生徒、保護者、先生方と協力して活動してきました。今年は三年目にして初めて清流会館の清掃を行う事ができて、きれいになつた会館を後にしてボランティアとして参加して本当に良かったと思いました。当日は生徒さんもボランティアとして、たくさん参加してくれて汗を流しながら保護者のみなさんと先生方と楽しく協力して清掃している姿が印象に残っています。会館は古く老朽化が進んでいましたが立派な建物で使われていないのがもつたないくらいでした。清掃は窓拭き、玄関下足箱、二階の畳の大広間の掃除機がけ、トイレ、洗面台、一階のホールのモップがけ、広い会館は掃除する所だけでした。それでも二時間ぐらいで終わらせる事ができ、みなさんの



清流会館清掃ボランティア

手際の良さに感心しました。

今年は私にとって子供のPTA活動に参加するものが最後だったため、掃除活動や研修委員会の委員長を無事に務め終わる事ができ、



に何をしてあげられるのか。どんなに社会が変化しようとも、正義や公正、人権を尊重することを育成することは、時代にかかわらず教育において変わることはないというのを学ばせてもらいました。

全国高校PTA連合大会

二日目は二つの会場で記念講演が行われました。講師は、第七十二代横綱稀勢の里の二所ノ関親方でした。演題は「人材育成の不易流行」で、幼少期から現役、引退してから今に至るまでの話をされていました。

仲間と共に紡いだ文化祭の記録

生徒会長 赤坂 澪



文化祭は、私たちの学校生活の中でも、特別なイベントの一つです。今年の文化祭は、多くの思い出と喜びが詰まつた素晴らしいものになりました。準備から当日までの時間を振り返ると、さまざまな感情が甦ります。

準備期間では、クラスメイトと意見を活発に出し合ながら、装飾や打ち合わせをする様子が見られました。意見の対立もしばしばありました。話し合いを重ねることで、協力の大切さを学びました。当日は、多くの人で賑わい、無事成功で終えることができました。また、他のクラスの出し物を見て、新たな刺激を受け、創造力を広げることができたと思います。

文化祭を通じて、チームワークの大切さを何より実感しました。この思い出は、これからも私たちの心に残り続けるでしょう。

文化祭の思い出

文化委員長 永田 直也



その際に苦労したことは、委員に次の指示を出したり、文化祭までに一から案を出して期限までに仕上げることです。次に考えたことは、誰でもどこでも写真を撮れる場所を作ることです。なぜかと言うと、去年は飾り付けた装飾の前で写真を撮る人が順番待ちをしていたという意見に耳を傾け、それは改善しなくてはならないと思いました。今年は玄関前に「三高祭」という文字を貼り付けることで、待ち時間を減らし、多くの方が同時に写真を撮れるという案を出しました。その結果、文化祭当日は、待ち時間もなく成功させることができて良かったです。

私は、最高学年としての自負を持つて行動するために文化委員の委員長に立候補しました。主に文化委員会の仕事は文化祭の準備です。内容ですが、講堂の飾り付け・講堂への廊下・校門の飾り付けを行いました。

のどづち食堂大盛況!!

三年 日保玲唯菜



私たちちは今回の模擬店で、二日間に渡り商品を販売しました。何を売り、商品の仕入や調理、販売方法などはどのようにするのかを、クラスメイト全員で話し合いました。模擬店では今回、三つの店舗から商品を数多く仕入れたのに加え、自分で作った商品を販売しました。少ない人数で調理と販売を同時進行できるのか不安はありましたが、無事に商品を販売することができます。初めてのことばかりで苦労も多かったです。自分自身も楽しみながら、買ってくれた方が美味しいと言っているのを聞いて、とても嬉しかったし、楽しめたです。

模擬店を成功させることができたのは、準備から当日まで協力してくれた先生方やクラスのおかげです。本当にありがとうございました。

PTAバザー開催

PTA監事 松本恵美子

バザーの売上金額￥13,900でした。売上金は生徒会会計へ入金し、生徒の活動に役立てたいと思います。



今年もPTAバザーが三高祭で開催され、お手伝いをさせていただきました。三年間お手伝いをさせていただきましたが、子どもが春に卒業するので、今回が最後になりました。一年目は、あつという間、わからずいま終り、二年目は少し皆様に頼りにされ、三年目は集まつたPTA役員の皆様とお話をしたり、お客様として来て下さった生徒・先生・保護者の方々と交流したりと、大変思ひ出深いものとなりました。バザーの商品は、保護者の皆様から寄せられた新鮮野菜、「憩いの森あすもこつ」でつくっている「11ぴきのねこ」のお菓子やグッズです。野菜は新鮮なものでPTA役員の努力もあり、毎年完売です。ねこのお菓子もいつも売り切れ、グッズもさすが三戸の「11ぴきのねこ」です。よく売れます。今年度、私は子どもと一緒に卒業となります。PTAバザーに携わることにより楽しく三高祭・PTA活動をさせていただくことができました。来年度からのPTAバザーもまた楽しみにしております。皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

部活動活動報告

A group of students in white shirts and black pants posing in front of a green chalkboard. The chalkboard has the text "第三回 高校総文祭" and "研究部門" written on it. A Japanese flag is visible in the background.



清流の国さふ文化祭
最優秀賞



2年HR会長 千浦 瑠杏
京都に着いてすぐ金閣寺に行きました。紅葉がとても鮮やかできれいでした。金閣寺の金色が水面に映っているのにも感激しました。皆、7億円の金箔と聞いて驚き、少し欲しくなりました。金箔のお土産を買っていました。人もいたり、おみくじをひいたりして楽しんでいる様子でした。最後に学業成就のお札をいただき、大事にバッグにしまつていました。

修学旅行

十一月三十日～十一月四日